特許 第1438822号

SG安全基準

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ハイローベッド&チェア

ソノバ de ターン

取扱説明書／保証書

室内用の新生児から48月まで体重18kg以下のお子さま1人用簡易ベッド、兼用チェアです。

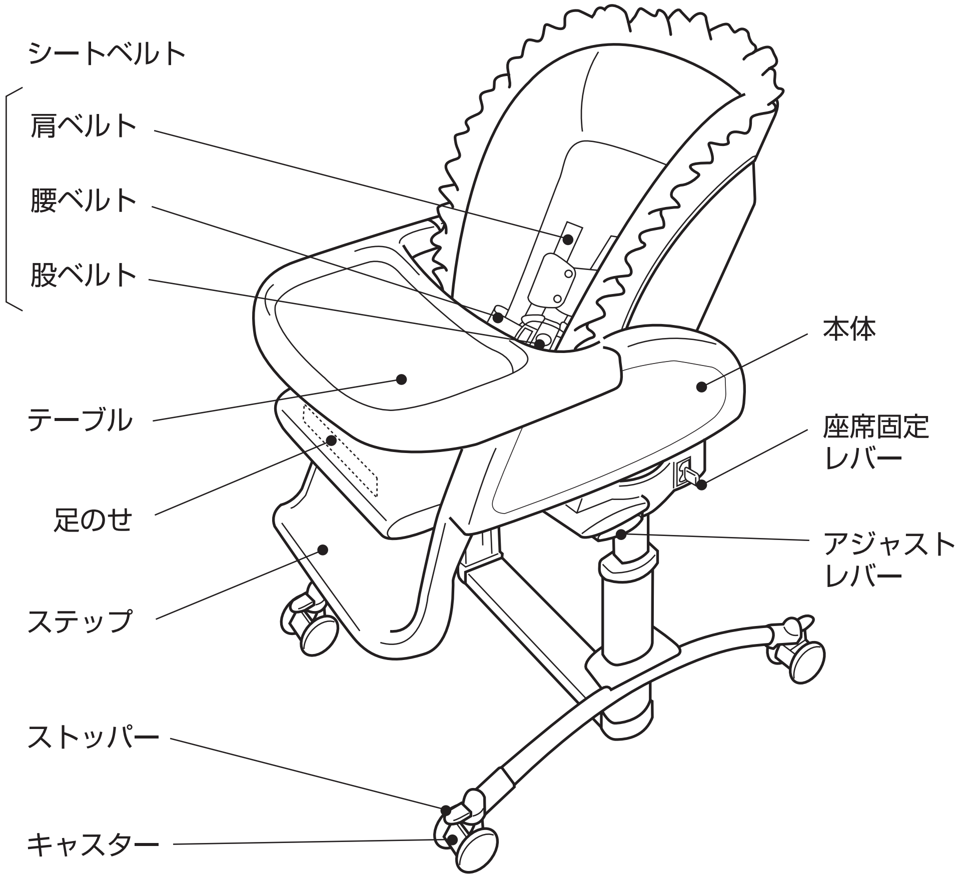
このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、お読みになった後は、本書は必ず保管してください。

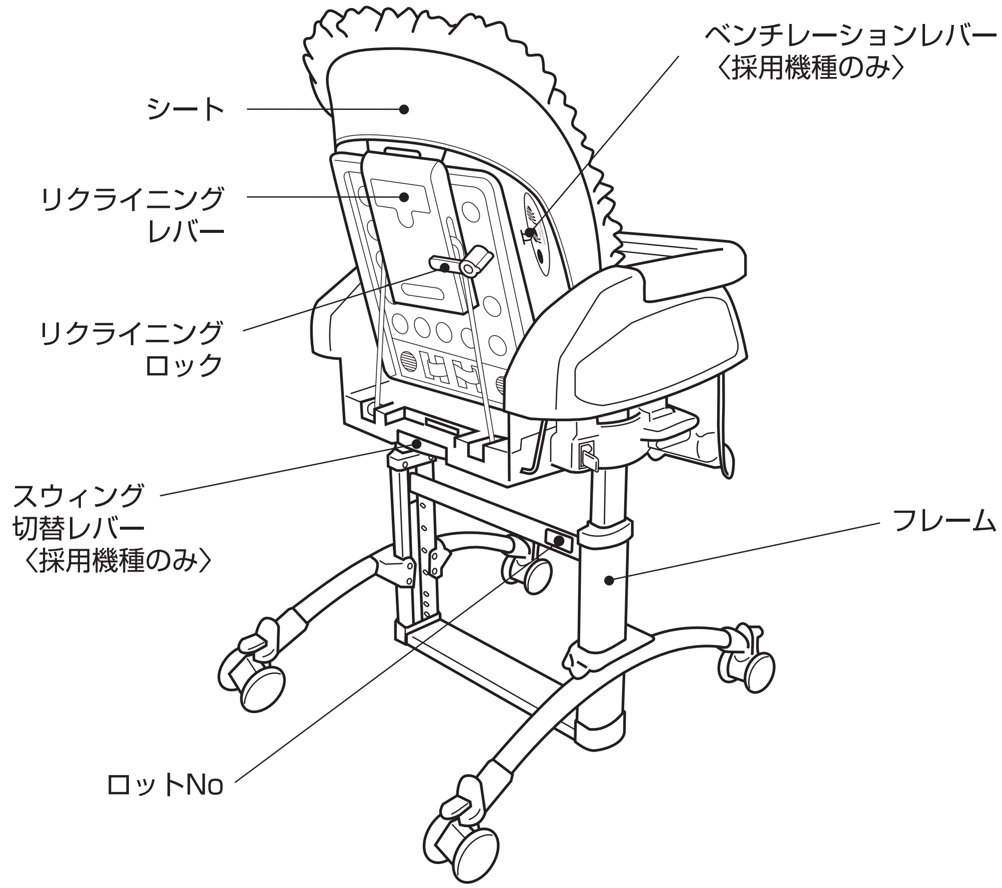
もくじ

各部の名称

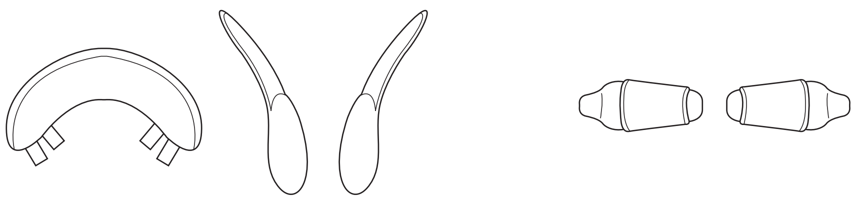
・取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。

本体と付属品の名称



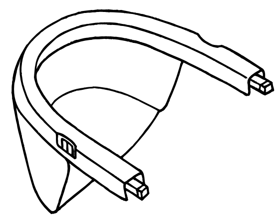


脳･頸椎･おなかフルマモール〈採用機種のみ〉



脳･頸椎マモール　　おなかマモール

足カバー〈採用機種のみ〉



〈付属品〉



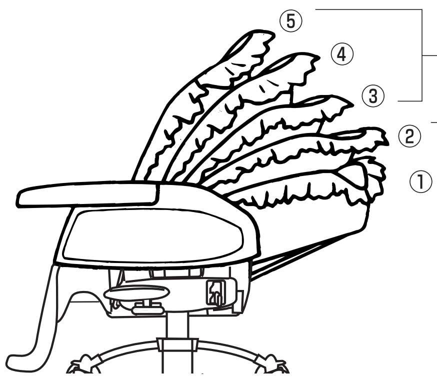
取扱説明書
（本書）

ご使用上の注意

使用条件

・お子さまの発育に合わせて使用してください。
月齢の表示は目安ですので、お子さまの発育により個人差があります。
・表中の○は使用可能、×は使用不可能を示しています。

発育状態の目安（月齢の目安）	新生児～首がすわるまで（2・3月頃）	首がすわってから～ひとり座りができるまで（7月頃）	ひとり座りが出来る～18kg以下（7月～48月）
参考体重	2.5kg～7kg	7kg～9kg	9kg～18kg
スウィング	○	○	×
安全ベルト　肩ベルト	必ず使用	・座高46cm（参考月齢18月）まで使用し以後は使用不可。（収納する）	
安全ベルト　腰・股ベルト	必ず使用	必ず使用	36月頃まで必ず使用
テーブル	○	○	○
リクライニング	①	① ②	③ ④ ⑤



チェアでの使用ポジション
最上段～下に3段

スウィングポジション
最下段～上に1段

連続使用時間について

・お子さまが使用する時間は、1回30分から1時間が適当です。（繰り返しスウィング時間の目安は15分間でそれ以上のスウィングはさけて下さい。）1日の使用時間は合計2～3時間が望ましい。

ご使用上の注意

表示内容について

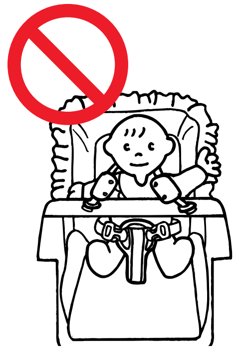
・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠ 警 告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注 意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
🚫 禁 止	絶対してはいけない内容です。

警　告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警 告



お子さまが座高46cm（参考月齢18月）未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。

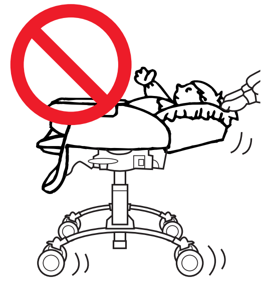


体重18kg、（参考月齢48月）を超えるお子さまに使用しない。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。



お子さまを乗せたまま移動させない。

はずみをつけたり、つき放したりしない。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

（次ページに続く）

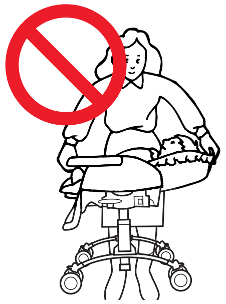
（前ページからの続き）

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告



車輪、キャスターは平らな床面上で簡易な移動や向きを変えたりするためのものです。
そのため、傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



スウィングポジション以外でスウィングしない。

スウィングさせる時以外、スウィングロックを解除しない。

テーブルなどの間に手足などを挟み、けがをするおそれがあります。



お子さまを乗せたまま一人で放置しない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。



ストーブなどの危険物の近くで使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



スウィングは保護者が行い、必ず付き添っていること。また繰り返しスウィング時間の目安は、15分間であり、それ以上のスウィングは避けること。



お子さまに衝撃が加わるほど激しくスウィングさせない。

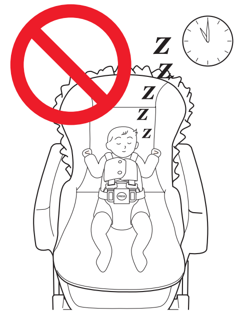
思わぬ危険をまねくおそれがあります。

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告



お子さまの首や腰が安定していない場合は、背もたれを起こさない。



一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



お子さま一人で乗り降りさせない。



お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまを座席や座面、背もたれ、足カバー、足のせ、ステップなどに立たせない。



二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまの身体をテーブルや足カバー、手すりから乗り出させない。

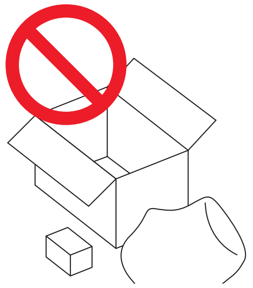
思わぬ危険をまねくおそれがあります。

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警 告



製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。

お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります



リクライニング操作時は背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

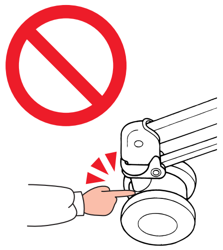


スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

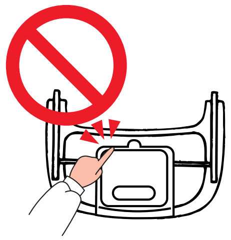


高さ調節をする時は脚などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。



テーブルレバーを引いた時に手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



足のせを押し込む時に手、指などを挟まないように注意してください。



足のせの下面で手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

注　意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 注 意

・ネジやナット類が緩んでいないこと。
・ストッパーをロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。
・簡易ベッド状態は新生児からお座りができる（参考月齢7月）まで以外のお子さまに使用しない。
・チェア状態は腰がすわってから（お座りができる）48月（体重18kg以下）以外のお子さまに使用しない。
・股ベルトの出しろは必ず5cm以上残す。
・腰ベルトの出しろは必ず3cm以上残す。
・お子さまを乗せた時、前輪や後輪を持ち上げて移動しない。
・高さ調節やリクライニング操作、移動、テーブルの脱着などは必ず保護者がおこない、お子さまにさせない。
・高さ調節時、リクライニング操作時は、お子さまを廻りに近づけない。
・シートを外した状態では、お子さまを乗せない。
・火の近くに放置しない。
・その他、故障の原因となるようなことはしない。
・保護者の目の届く範囲で使用し、絶対にお子さまを一人で放置しない。

禁止事項

・次のようなことは絶対にしないでください。

⃠ 禁 止

・当社サービス員以外の分解・組立・改造。
・ネジ、ナットなどを外しての使用。
・シートを外した状態の使用。
・荷物などの運搬のための使用。
・落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後の使用。
・お子さまの遊び道具としての使用。
・保護者、介添者などが寄り掛かったり、椅子など腰掛けとしての使用。
・踏み台としての使用。
・車輌の中での使用。
・屋外で使用。
・屋外に放置し雨などにさらした後の使用。
・その他、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

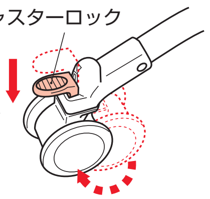
ご使用前の点検

・使用前には必ず各部を点検してください。

〈ネジ〉
使用前には、必ずハイローベッド＆チェアのネジの緩みのないことをドライバーなどで確認してください。

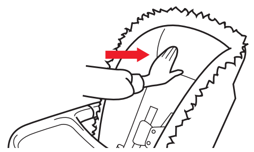


〈ストッパー〉
ストッパーをかけてハイローベッド＆チェアが動かないことを確認してください。



⚠注意	・構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

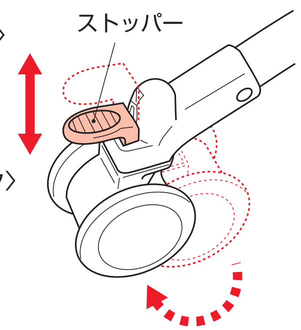
〈リクライニング〉
使用前にはシートの背もたれ部分を押さえて異常のないことを確かめてください。



万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受けてください。

操作方法

ストッパーの使い方

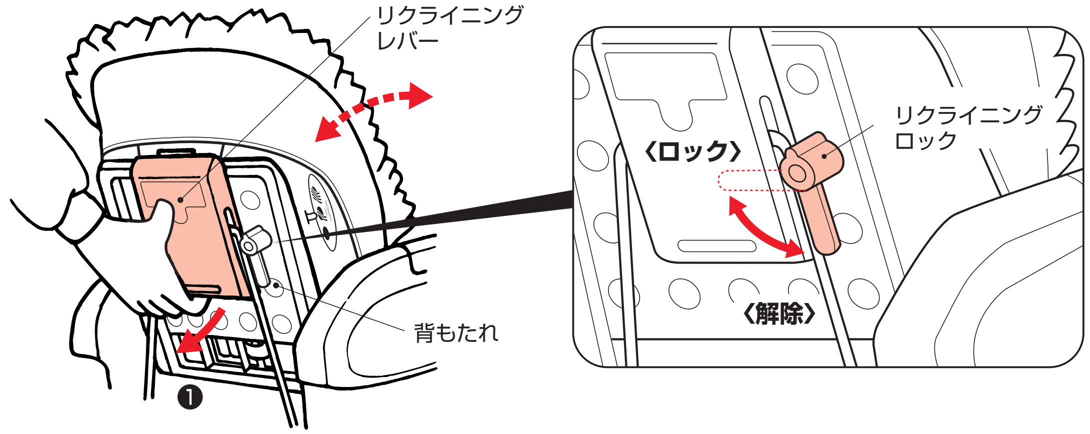


・ストッパーは、車輪の方向転換と走行を同時にロックや解除することができます。

⚠注意	・移動させる時以外は、必ず4輪ともストッパーをかけて、ご使用ください。

リクライニングの方法

・角度調節は5段階です。

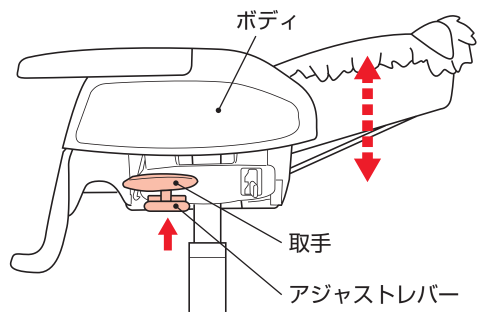


❶リクライニングレバーを手前に引いて背もたれの角度を変えます。
❷お使いになる角度で、リクライニングレバーを戻します。
・リクライニングの角度を変えると、肩ベルト・股ベルトの長さが変わります。ベルトの長さ調節をしてください。

⚠注意	・リクライニング操作時以外は、必ずリクライニングロックをロックしてください。

高さ調節の方法

・高さ調節は5段階です。



❶左右の取手とアジャストレバーをにぎったまま、ボディを上下させます。

❷お使いになる位置でアジャストレバーを離し、ロックしたことを確認してください。

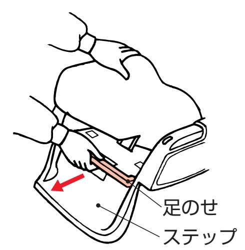
⚠警告	・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。

操作方法

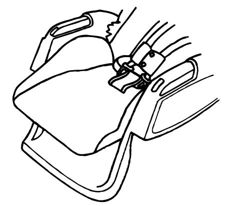
足のせの使い方

・背もたれを水平に近い角度にするときなど、足のせは座席の延長としてお使いください。

〈引き出し方〉

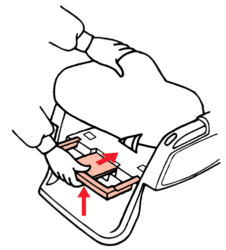


❶シートの下にある足のせを前方に引き出します。



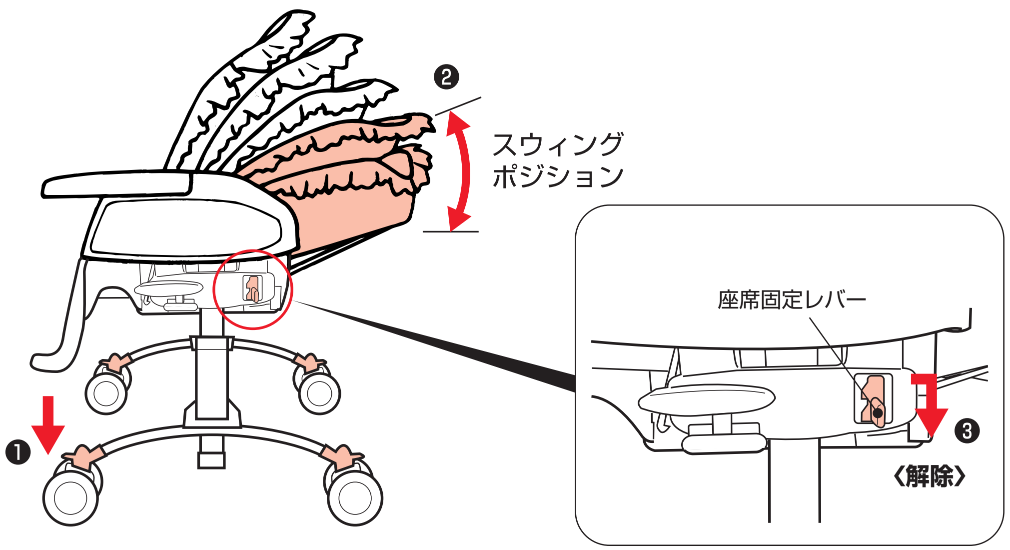
❷座席の延長としてお使いください。

〈戻し方〉



●足おきの真ん中の部分を下から手で押し上げたまま足のせを座席に押し込んでください。

スウィングの使い方

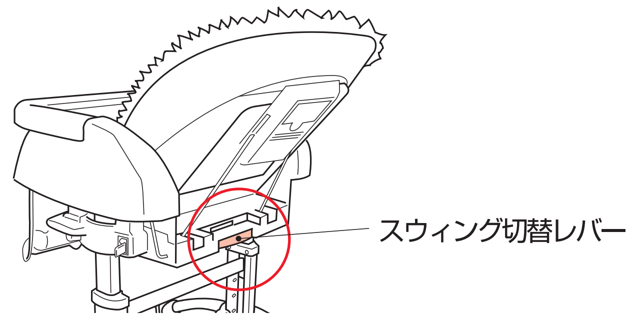


❶4輪ともストッパーをロックします。
❷背もたれを寝かせてスウィングポジションにします。

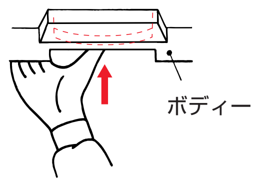
❸座席固定レバーを解除するとスウィングできます。

⚠警告	・スウィングポジション以外でスウィングしない。 ・首がすわっていないお子さまには、背もたれをいちばん寝かせた角度にしてご使用ください。
⚠注意	・激しくスウィングさせない。 ・スウィングは、保護者が行い、必ず付き添うこと。 ・繰り返しスウィング時間の目安は、約15分間でそれ以上のスウィングは避けること。

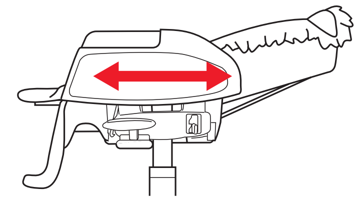
スウィングの切替方法　抱っこWスウィング〈採用機種のみ〉



〈ニュースウィング〉

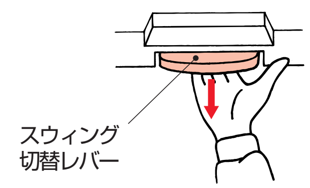


スウィング切替レバーを押し込みます。

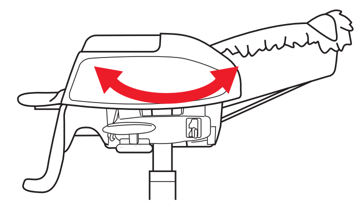


・ボディの角度が一定のままスウィングします。

〈ロッキング〉



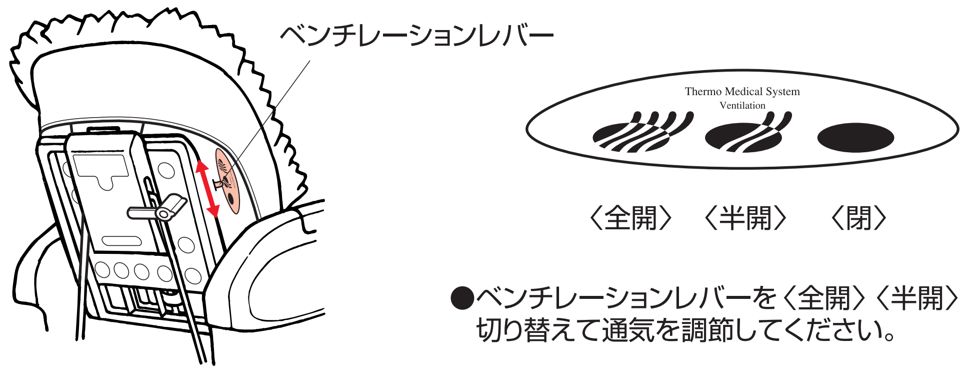
スウィング切替レバーを引き出します。



・ボディの角度が円弧状にスウィングします。

ベンチレーションの使い方

・ベンチレーションとは、お子さまの背中とシートとの間の温度を快適な状態にするために通気を調節するシステムです。

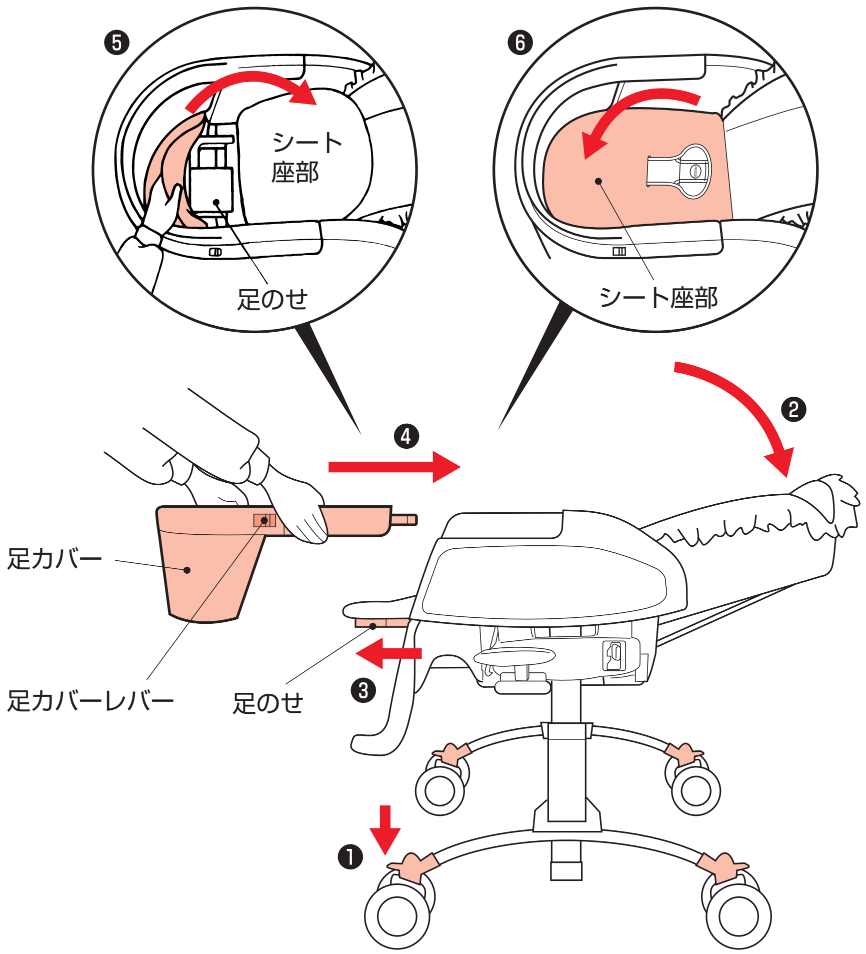


●ベンチレーションレバーを〈全開〉〈半開〉〈閉〉に切り替えて通気を調節してください。

操作方法

足カバーの使い方

・腰が安定したお子さま（約6月以上）には使用しないでください。

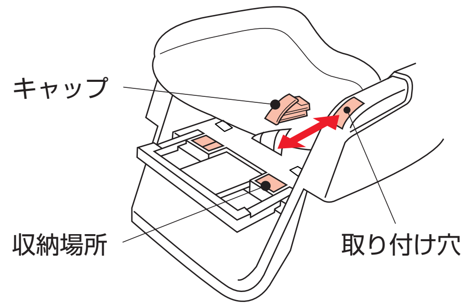


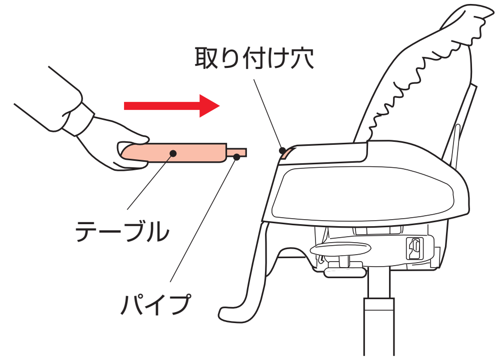
❶4輪ともストッパーをロックします。
❷背もたれを寝かせてスウィングポジションにします。
❸足のせを引き出します。
❹足カバーの左右のパイプを本体の取り付け穴に差し込みます。
❺シートの座部を持ち上げて、足カバー底部を足のせの上に取り付けます。
❻シートの座部を足カバー底部にかぶせます。

⚠注意	・足カバーを使用する時は、必ず足のせを引き出してください。

・取り外す時は、左右の足カバーレバーを手前に引いた状態で、足カバーを水平に抜き取ります。

テーブルの使い方

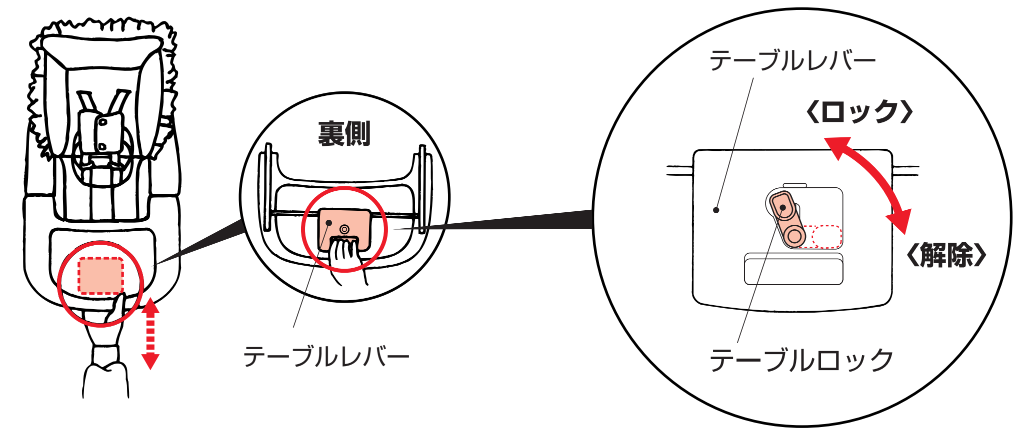




❶本体左右のキャップを取り外し、収納場所に保管します。

❷テーブル左右のパイプを、本体の取り付け穴に差し込みます。

・テーブルを使用しない時は、キャップを取り付けてください。



❸テーブルレバーを引いて、お子さまに適切な位置で固定します。

❹テーブルロックを縦位置にしてロックします。

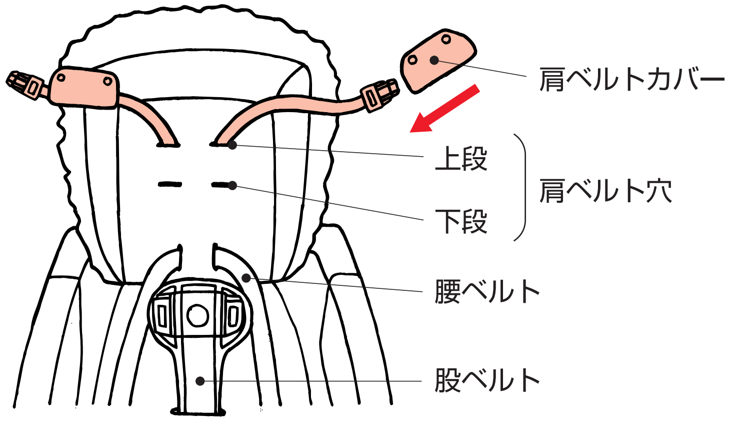
⚠警告	・36月未満のお子さまが使用される場合は、本体にテーブルを取り付けてご使用ください。

⚠注意	・テーブルを本体に取り付けてお使いになるときは、必ずテーブルロックを縦位置にしてロックしてください。

お子さまを乗せる前に

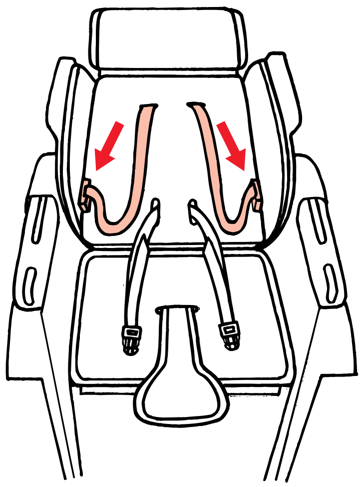
肩ベルト位置の調節方法

・肩ベルトの長さ調節は、お子さまの成長に合わせて股ベルトで調節してください。
・座高46cm以上（約18月以上）のお子さまには使用しない。



月齢(体格)の目安	肩ベルト穴の位置
2月頃まで	下段
3月頃から	上段
座高460mm (参考月齢18月)以上	収納

肩ベルトの収納方法



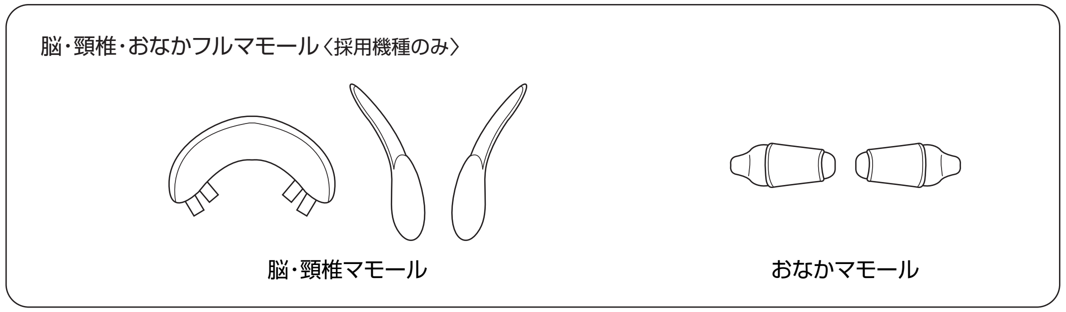
・座高46cm以上のお子さまには、

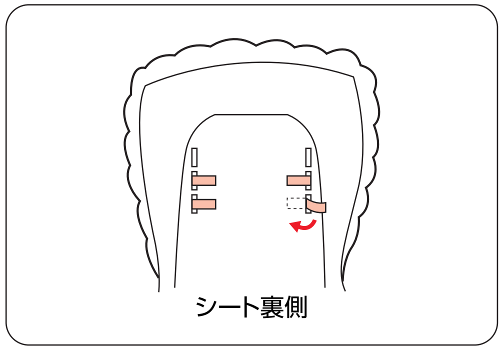
❶肩ベルトカバーを外します。
❷シートを外します。
❸肩ベルトを収納します。

・腰ベルトと股ベルトを通して
シートを取り付けてください。

脳・頸椎・おなかフルマモールの取り付け方〈採用機種のみ〉

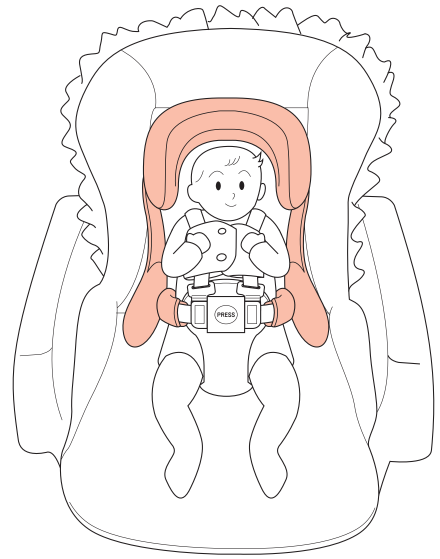
・脳・頸椎マモールはベッド状態以外は使用しないでください。

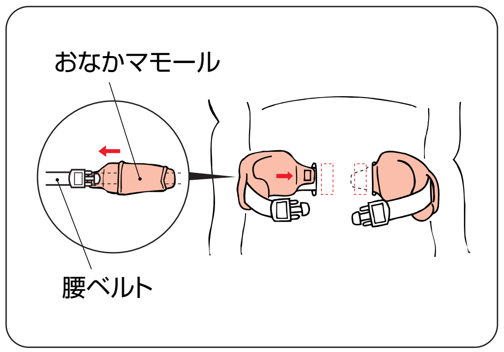




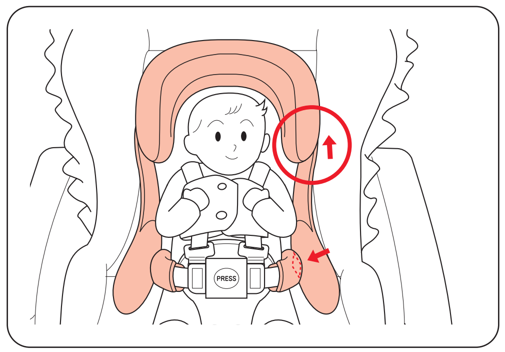
❶脳・頸椎マモールをシート裏側の面ファスナーにとめます。

月齢の目安	取り付け穴の位置
2月頃まで	下　段
3月頃から	上　段





❷おなかマモールを腰ベルトに取り付けます。

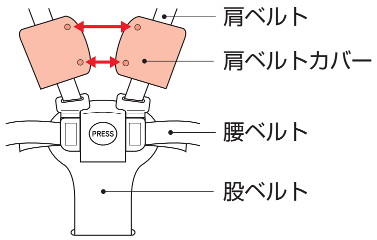


❸腰パッドの面ファスナーをおなかマモールに取り付け、脳・頸椎マモールとシートの間に挟み込みます。

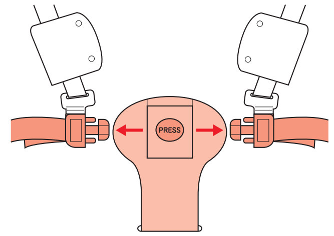
お子さまの乗せ方

・お子さまが簡易ベッド状態でご使用になる時間は、1回あたり30分～1時間が適当です。
　1日あたりの合計では2～3時間が望ましい。

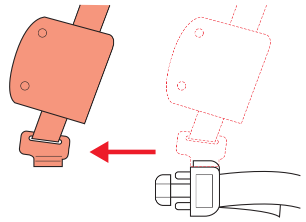
腰ベルトの外し方



❶左右の肩ベルトカバーのホックを外します。

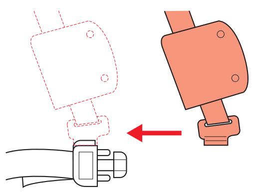


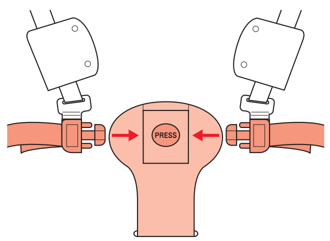
❷股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。



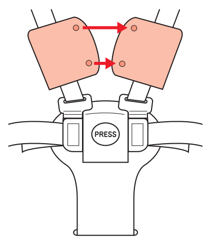
❸腰ベルトから肩ベルトを外します。

腰ベルトの装着方法

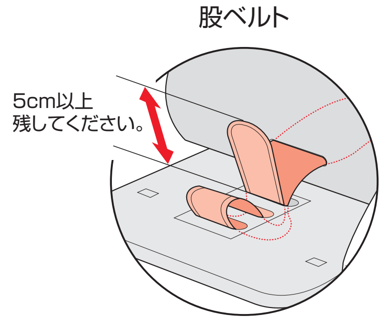




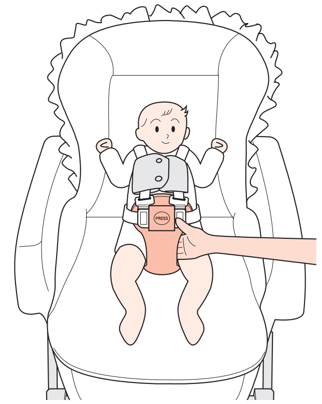
❶お子さまをシートに乗せて、腰ベルトに肩ベルトを差し込み、股ベルトにとめます。



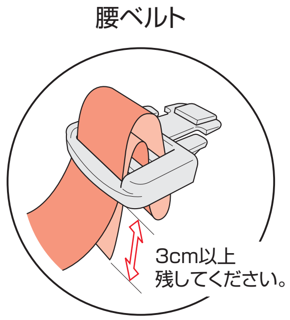
❷左右の肩ベルトカバーをとめます。



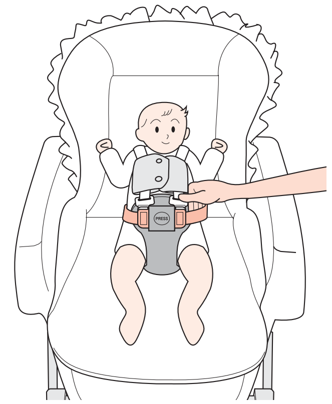
❸シートとクッションマットをめくって股ベルトの長さを調節します。



❹股ベルトの長さは、股ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



❺腰ベルトの長さを調節します。



❻腰ベルトの長さは、腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

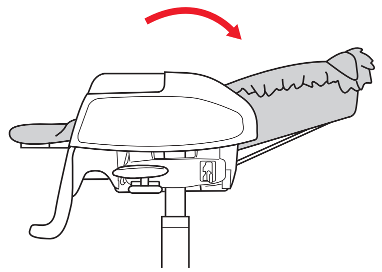
⚠警告	・お子さまが座高46cm（参考月齢18月）未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。 ・腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。

⚠注意	・シートベルトは、身体に合わせて必ず長さを調節する。 ・肩ベルトカバーは、必ず左右のホックをとめて使用する。 ・❸の股ベルトの出しろ（⟷の部分）は必ず5cm以上残す。 ・❺の腰ベルトの出しろ（⟺の部分）は必ず3cm以上残す。

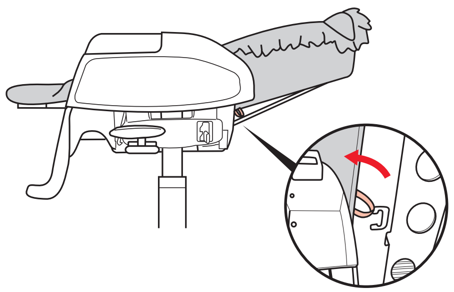
・肩ベルトを取り外して使用する場合も、同じ手順で装着してください。
　（「肩ベルトの収納方法」はP15を参照してください。）
・脳・頸椎・おなかフルマモール〈採用機種のみ〉をご使用になる場合も、同じ手順で装着してください。

日常のお手入れ

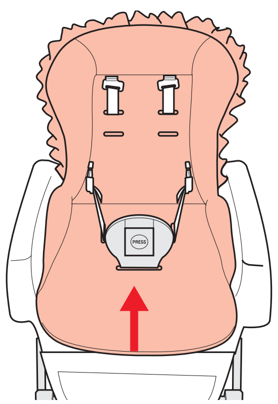
シートの取り外し方



❶リクライニングをいちばん寝かせた角度まで倒します。



❷左右のゴムベルトを外します。



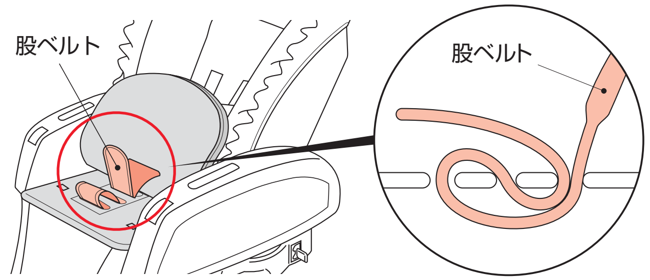
❸シートから肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜き、シートを持ち上げて取り外します。

⚠注意	・シートを外した状態で使用しない。 ・クッションは外さない。

・取り付ける時は、逆の手順で行ってください。

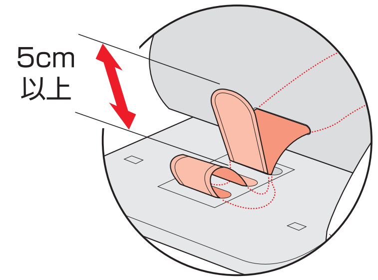
股ベルトの取り付け、取り外し方

〈取り外し方〉



●股ベルトをゆるめて穴から抜き取ります。

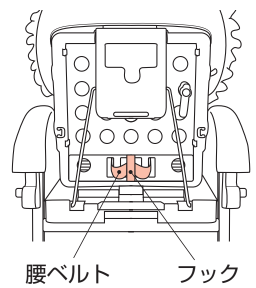
〈取り付け方〉

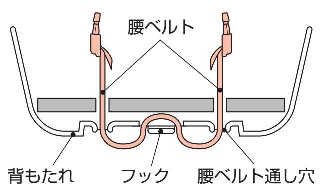


●股ベルトの出しろ（←→の部分）は必ず5cm以上残す。

腰ベルトの取り付け、取り外し方

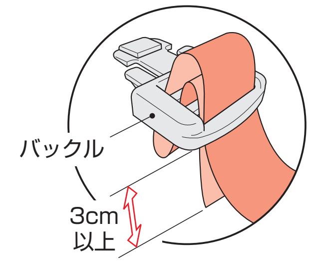
〈取り外し方〉





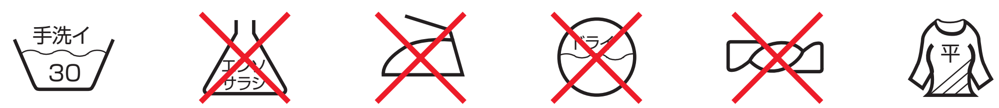
❶腰ベルトを背もたれの腰ベルト通し穴から抜き取り、フックから外します。
❷腰ベルトのバックルを取り外します。

〈取り付け方〉



❶取り付ける時は、背もたれに通してからフックに引っかけてください。
❷バックルの表裏に注意してください。
❸腰ベルトの出しろ（⇔の部分）は必ず3cm以上残す。

縫製品のお手入れ方法



本体のお手入れ方法

・汚れは、水にひたして固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

フレームのお手入れ方法

・フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。

⚠注意	・拭き取りには、シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。

車輪のお手入れ方法

・車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで仕上げてください。

⚠注意	・シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。 ・車輪の汚れがひどいと、床面上ですべる場合があります。

保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より4年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL 0120ー415ー814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

保管のしかた

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）

SGマーク制度について

SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後４年以内です。

賠償についてのご注意
・認定したハイローベッド&チェアそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。
あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について
・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2－20－2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03－5808－3303

〈事故賠償に必要な項目〉
①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）